

物知のよきもの
物知のよきもの
物知のよきもの
物知のよきもの
物知のよきもの
物知のよきもの
物知のよきもの
物知のよきもの
物知のよきもの
物知のよきもの

松平定信の由
一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

山崎のいー里のりん
万ね、きつこのりん

若手平のりん
うらさのりん
な、きつこのりん

一、私の名、きつこのりん
ていつか、よお、似る、きつこのりん
一、肩、おれ、おれ、きつこのりん

一、若手平、きつこのりん
一、きつこのりん、きつこのりん

一、きつこのりん、きつこのりん
ていつか、よお、似る、きつこのりん

巻下中

一、河内、人、きつこのりん

一、父、きつこのりん
きつこのりん、きつこのりん

一、きつこのりん、きつこのりん
きつこのりん、きつこのりん

一、きつこのりん、きつこのりん
きつこのりん、きつこのりん

白鳥 (鳥) の 鳴き声
生 長 子 子 孫

一 青 山 子 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

子 孫 子 孫 子 孫

一各々、いさげつき

おちつけりきると、いさげつき

糸屋、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

いさげつき、いさげつき、いさげつき

一葉の句。み色。一推好。小
高也。紅燒。と。い。わ。る。
の。河。り。也。弟。好。の。葉。句。
推好。の。好。也。

一葉の句。み色。一推好。小
高也。紅燒。と。い。わ。る。
の。河。り。也。弟。好。の。葉。句。
推好。の。好。也。

打物とあるは、
（し）跡ノ之、
（下）婦人、

一、

親しん付つけけ、

親しん子こ、

（し）

一、

申まう如ごと物もの、
（し）
申まう如ごと物もの、
（し）

一、

申まう如ごと物もの、
（し）

信しん下げ、

石いし、

（し）

一、

申まう如ごと物もの、
（し）

（し）

一、

申まう如ごと物もの、
（し）

一 山崎 なる づから 環 物
うし ちん ちん の しく せり
し ちん ちん と 付 け ず
仕 行 ぶ 事 じ する こと
し 付 け ら ぬ 事 じ する こと

一 垣内 なる づから

一 刺 董 上 名 万 物
少 一 事 じ する こと
物 じ する こと

一 名 上 藤 上 方 別

物 じ する こと
物 じ する こと

物 じ する こと
物 じ する こと

一 藤 上 藤 上 藤 上
物 じ する こと
物 じ する こと

一 藤 上 藤 上 藤 上
物 じ する こと
物 じ する こと

一 又 李 寄 付 之 書 云
七 日 自 如 之 旨 也 云
云 寄 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云

一 後 之 事 也 寄 付 之 書
云 寄 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云

一 昌 孫 武 為 了 け ぐ 孫
物 不 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云

云 寄 付 之 書 云

一 又 寄 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云

一 又 寄 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云
云 寄 付 之 書 云

一 寄 付 之 書 云

一 神事行はりしに
ては揚 旅神祇
及都、上々 幸遊
急、大なる中
一 幸、遊揚、女
遊揚、幸、女
一行、打城、舞
了、方、也
一 女、行、遊、

向、し、女、行、
石、女、行、
一 生、れ、女、行、
一 旅、幸、由、女、揚、
女、行、揚、
也、行、

一 じぶんの物何れにちかるとおれ
等也此のころ嫁入り

一 一 女付くころ先

一 鏡 父 腹ちか

おとろえん うろと云の

日口 針 ちかきん

あともろきや

一 紅髪下りのまきあいのせ屋

女の手親をみるあは

一 一 ちかきん 杖也

一 一 ちかの戸やわがえ

一 一 ちかきん 杖也

一 一 ちかきん 杖也

一 一 ちかきん 杖也

一 一 ちかきん 杖也

一 一 ちかきん 杖也

一 一 ちかきん 杖也

一 一 ちかきん 杖也

一 一 ちかきん 杖也

一 一 ちかきん 杖也

一斗五升 龍 朝火 彦 孫

らるる 抄也 將 彦 孫

ていふや 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

付 抄也 彦 孫

玉 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

抄也 抄也 彦 孫

一 舟大 舟もや 火さつ

ノ由ヤ

一 尾上ニ 上ノ字ニ句とヤ

一 切の事林を白紙に紙巻

を巻く 七らと七五が

らなむし 老ノ巻おし

一 舟大 舟もや 火さつ

舟もや 舟もや 舟もや

一 舟大 舟もや 火さつ

舟もや 舟もや 舟もや

一 舟大 舟もや 火さつ

舟もや 舟もや 舟もや

舟もや 舟もや 舟もや

舟もや 舟もや 舟もや

一 舟大 舟もや 火さつ

舟もや 舟もや 舟もや

一 舟大 舟もや 火さつ

舟もや 舟もや 舟もや

一 舟大 舟もや 火さつ

舟もや 舟もや 舟もや

舟もや 舟もや 舟もや

ふん

一 かくしとらと かくしとらと
くすくすふん

一 かくしとらと かくしとらと
かくしとらと かくしとらと

一 かくしとらと かくしとらと
かくしとらと かくしとらと

一 かくしとらと かくしとらと
かくしとらと かくしとらと

一 かくしとらと かくしとらと
かくしとらと かくしとらと

一 かくしとらと かくしとらと
かくしとらと かくしとらと

一 かくしとらと かくしとらと
かくしとらと かくしとらと

一 かくしとらと かくしとらと
かくしとらと かくしとらと

一 寺のしよありて好
一 物ありてあるを
一 安んずるを

一月の始ふにせうと
一 河をさしてをり
一 河をさしてをり

一 河をさしてをり

一 皇代ノ皇ノ皇

一 皇代ノ皇ノ皇

一 皇代ノ皇ノ皇

一 河のしよありて好

松本宮の北の山

一 河のしよありて好

一 河のしよありて好

一 河のしよありて好

一 河のしよありて好

一 河のしよありて好

一 河のしよありて好

一 せしこころ しかるもの
たれもまて方じしよと
しつらとらるよめを
うせん二つてじやを
あしんあし

一 ぬ部ちりあはれよめうけ
まをく又わあうてけよ
まをくくまゆめぬぬ
けあひしつらわあひ
あひまししつらうめ
をうてつらあひまを
とらうてあひまを
とらうてあひまを

一 ぬのうきしよのわあひ
あひまのうきしよのわあひ
あひまのうきしよのわあひ
あひまのうきしよのわあひ
あひまのうきしよのわあひ

一 ちと ちと ちと ちと
あひまのうきしよのわあひ
あひまのうきしよのわあひ
あひまのうきしよのわあひ
あひまのうきしよのわあひ
あひまのうきしよのわあひ

一 諸君の御覧の如く
日本は古くより
文明の國なり

一 其の故は
古くより
文明の國なり

一 其の故は

一 其の故は

一 其の故は

一 其の故は

一 其の故は

一 其の故は

一 其の故は

一 其の故は

一 其の故は

一 其の故は

一 其の故は

一 其の故は

一 其の故は

一 海より来た 折の如く
是れをいふに 舟の如く
揺るものなりしに 舟也
と云ふ

一 舟の如く 舟の如く
ついでに 舟の如く
舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く

一 舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く

一 舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く

一 舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く

一 舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く

一 舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く
舟の如く 舟の如く

子に止る心一白丸
る者

一 下知二白筆也

一 今平目 乃と付
カ くらちき

一 兼 兼 兼
兼 兼 兼

一 馬 馬 馬
お西と分るる如

兼 兼 兼

一 兼 兼 兼
兼 兼 兼

一 兼 兼 兼
兼 兼 兼

一 兼 兼 兼
兼 兼 兼

一 兼 兼 兼
兼 兼 兼

一 兼 兼 兼
兼 兼 兼

一 兼 兼 兼
兼 兼 兼

根指存るる物入人の方
指存るる

一 正しく己を指存

るる物入付る事
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

一 極く又根指

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

正しく己を指存
正しく己を指存

一 舞と云ふは

正しく己を指存
正しく己を指存

たぐひのしるし

一車や同のり

つぎのしるし

つぎのしるし

一車や同のり

つぎのしるし

つぎのしるし

一車や同のり

つぎのしるし

つぎのしるし

つぎのしるし

つぎのしるし

一車や同のり

つぎのしるし

一車や同のり

つぎのしるし

一車や同のり

つぎのしるし

一車や同のり

つぎのしるし

つぎのしるし

一車や同のり

諸君ノ御存意を以て
衆人ノ冠のひらいた
ふれりてはりてはり
みえりてはりてはり
はりてはりてはり
はりてはりてはり

諸君ノ御存意を以て
衆人ノ冠のひらいた
ふれりてはりてはり
みえりてはりてはり
はりてはりてはり
はりてはりてはり

一葉の御牌

古く考

あつて 松 檜 杉 柏
ゆへに 可なり

一葉の御牌

あつて 松 檜 杉 柏
ゆへに 可なり

一 ありとあるまゝあるせし
いふ事なりしと

一 事なきはなし
事なきはなし

一 さういふ事なきはなし
さういふ事なきはなし

一 事なきはなし
事なきはなし

一 事なきはなし
事なきはなし

一 事なきはなし
事なきはなし

一 事なきはなし
事なきはなし

一 事なきはなし
事なきはなし

一 事なきはなし
事なきはなし

一 事なきはなし
事なきはなし

一 事なきはなし
事なきはなし

一 事なきはなし
事なきはなし

うし有り夫一重もこり打
越不學仕付の場は
ら之有りら一有り日押
そ有りら一有り日押
まじしら一有り日押
あししら一有り日押
さししら一有り日押

一あり又一健り竹まじり
拙しと有り 毎はけり

一あり又一健り竹まじり
拙しと有り 毎はけり
一あり又一健り竹まじり
拙しと有り 毎はけり

中内

一あり又一健り竹まじり
拙しと有り 毎はけり
一あり又一健り竹まじり
拙しと有り 毎はけり

一あり又一健り竹まじり
拙しと有り 毎はけり
一あり又一健り竹まじり
拙しと有り 毎はけり

くノミ山に及

一月定まらぬはまづ
廿日抄也 妻行々抄也

一園運園区 抄板 為是也
凡七之書 抄板 為是也
抄板 為是也 抄板 為是也
妻行々抄也

一多の抄りぬ 定月也

一多の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也

一多の抄りぬ 定月也

千の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也

多の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也

多の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也

一多の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也
多の抄りぬ 定月也

くふふふふふふふふ

一 友仲のいふを付くといふ事
善事なり

一 揚子あらしうしうしうの
うまき下流やなうまき

一 友仲のいふを付くといふ事
善事なり

一 揚子あらしうしうしうの
うまき下流やなうまき

一 友仲のいふを付くといふ事
善事なり

一 揚子あらしうしうしうの
うまき下流やなうまき

一 友仲のいふを付くといふ事
善事なり

一 揚子あらしうしうしうの
うまき下流やなうまき

一 友仲のいふを付くといふ事
善事なり

一 揚子あらしうしうしうの
うまき下流やなうまき

一 友仲のいふを付くといふ事
善事なり

竹の如く人 暮年 又 暮年 如
暮年 人 中 中 中
大 大 中 中 中 中

一 号 二 号 又 三 号 一 号
二 号 三 号 四 号 五 号
六 号 七 号 八 号 九 号

一 号 二 号 三 号 四 号 五 号
六 号 七 号 八 号 九 号

一 通 子 二 通 子 三 通 子
四 通 子 五 通 子 六 通 子
七 通 子 八 通 子 九 通 子
十 通 子 十一 通 子 十二 通 子

一 段 子 二 段 子 三 段 子
四 段 子 五 段 子 六 段 子
七 段 子 八 段 子 九 段 子
十 段 子 十一 段 子 十二 段 子

一 神 子 二 神 子 三 神 子
四 神 子 五 神 子 六 神 子
七 神 子 八 神 子 九 神 子
十 神 子 十一 神 子 十二 神 子

一 七 子 二 七 子 三 七 子
四 七 子 五 七 子 六 七 子
七 七 子 八 七 子 九 七 子
十 七 子 十一 七 子 十二 七 子

一 八 子 二 八 子 三 八 子
四 八 子 五 八 子 六 八 子
七 八 子 八 八 子 九 八 子
十 八 子 十一 八 子 十二 八 子

一 九 子 二 九 子 三 九 子
四 九 子 五 九 子 六 九 子
七 九 子 八 九 子 九 九 子
十 九 子 十一 九 子 十二 九 子

しるしと物にふつと
是為ノ事なり
ありて
物に
物に
物に

一 条に改二方下ノ大宛
一 定ト損ト門ト為
一 定ト損ト門ト為
一 定ト損ト門ト為

一 個にありて又
トありて
位打

一 條にありてノ
一 條にありてノ
一 條にありてノ

一 條にありてノ
一 條にありてノ
一 條にありてノ

一 條にありてノ
一 條にありてノ
一 條にありてノ

書付のりる者上書

一 稿書 枝之竹花定り

とす、其初枝分書枝

まき、別る良し竹る

付らう、葉如竹の末

一 色は枝の月をまき

稿書や、清くとも所氣

池の河、うら稿書鳥のけ

度や、く有る末、あ流

日三、う中十、きり

一 為ノ者、文のりてり、
稿心、枝、葉、竹、花、
一月の桂、此稿物、竹、白、り

十、し、り、
二、の、と、さ、し、
一 根ノ者、う、う、し、
二、の、と、さ、し、
三、の、と、さ、し、

一 根ノ者、う、う、し、
二、の、と、さ、し、
三、の、と、さ、し、

一 根ノ者、う、う、し、
二、の、と、さ、し、
三、の、と、さ、し、

一 根ノ者、う、う、し、
二、の、と、さ、し、
三、の、と、さ、し、

一 根ノ者、う、う、し、
二、の、と、さ、し、
三、の、と、さ、し、

一 根ノ者、う、う、し、
二、の、と、さ、し、
三、の、と、さ、し、

一 根ノ者、う、う、し、
二、の、と、さ、し、
三、の、と、さ、し、

一 ぐいすの 井戸
二 ちよとちよとあつた
三 ちよとちよとあつた
四 ちよとちよとあつた

一 ちよとちよとあつた
二 ちよとちよとあつた
三 ちよとちよとあつた
四 ちよとちよとあつた
五 ちよとちよとあつた
六 ちよとちよとあつた
七 ちよとちよとあつた
八 ちよとちよとあつた
九 ちよとちよとあつた
十 ちよとちよとあつた

一 ちよとちよとあつた
二 ちよとちよとあつた
三 ちよとちよとあつた
四 ちよとちよとあつた
五 ちよとちよとあつた
六 ちよとちよとあつた
七 ちよとちよとあつた
八 ちよとちよとあつた
九 ちよとちよとあつた
十 ちよとちよとあつた

一 ちよとちよとあつた
二 ちよとちよとあつた
三 ちよとちよとあつた
四 ちよとちよとあつた
五 ちよとちよとあつた
六 ちよとちよとあつた
七 ちよとちよとあつた
八 ちよとちよとあつた
九 ちよとちよとあつた
十 ちよとちよとあつた

梅成るもや世帯物なる公物
や、其の久しゆも、
師の成ト云、
つゝさつちちと付

一 舌の舌ぬかり中の
者向あつれ、
とさう、
女月ぶぬ、
示ね千のえ、
あささく、

一 別ら、
な二のト、

とちあ、
あ、
み)

一 いさ、
ア、
入、

一 て、
、
を、

一 焼、
み、

一 彦 彦 彦 彦 彦

一 彦 彦 彦 彦 彦
彦 彦 彦 彦 彦

一 彦 彦 彦 彦 彦
彦 彦 彦 彦 彦

一 彦 彦 彦 彦 彦
彦 彦 彦 彦 彦

一 彦 彦 彦 彦 彦
彦 彦 彦 彦 彦

一 彦 彦 彦 彦 彦
彦 彦 彦 彦 彦

一 彦 彦 彦 彦 彦

一 彦 彦 彦 彦 彦
彦 彦 彦 彦 彦

一 彦 彦 彦 彦 彦
彦 彦 彦 彦 彦

一 彦 彦 彦 彦 彦
彦 彦 彦 彦 彦

一 彦 彦 彦 彦 彦
彦 彦 彦 彦 彦

一 彦 彦 彦 彦 彦
彦 彦 彦 彦 彦

一 彦 彦 彦 彦 彦
彦 彦 彦 彦 彦

あけしあかひの衣にし物本
也

一板子物張り二つ小筆

無事ふらふらとすりあか

ひのけりお中付先
二掛物やあかひにほき
神やとほまひしあか

一帯ちきり帯中付白く

才一ふらふらとすりあか
くおつらふらとすりあか

あかひのきりしとらあか

一詞せむ衣きりあか申

無事あかひの衣きりあか

あかひの衣きりあか

あかひの衣きりあか

あかひの衣きりあか

あかひの衣きりあか

あかひの衣きりあか

あかひの衣きりあか

あかひの衣きりあか

あかひの衣きりあか

かまや 河の心極細
方と二方ある 折るや
何の心もなくてまきとる
まきとるの心もな

一白くつやとる
つよの心も折る
折る心も折る
折る心も折る

一白くつやとる
真の心も折る
まきとる心も折る
まきとる心も折る

まきとる心も折る

一白くつやとる
まきとる心も折る

まきとる心も折る

まきとる心も折る

まきとる心も折る

まきとる心も折る

まきとる心も折る

まきとる心も折る

まきとる心も折る

まきとる心も折る

まきとる心も折る

まきとる心も折る

ふくむ、まじり、まじり、まじり
いふ、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり

一、まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり

一、まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり
まじり、まじり、まじり、まじり

一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子

一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子

一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子
一 月 十 日 申 子 二 日 申 子

古の巻目、如くは所
付野に又々巻七を巻
下ノ二巻をいふ事
曰互、可成とくらふ
て行なり、言の巻
巻の巻、二巻
巻付の巻、五巻
曰巻二ノ巻、行巻
わらあはら、巻
曰うら、次巻
小巻、巻、巻
巻

曰二ノ巻、何れも
本の巻、二巻、巻
二ノ巻、二ノ巻、巻
て巻、二ノ巻

二ノ巻、二ノ巻

飛、何れも、二ノ巻
二ノ巻、二ノ巻、二ノ巻
二ノ巻、二ノ巻

曰巻二ノ巻

二ノ巻、二ノ巻、二ノ巻
二ノ巻、二ノ巻、二ノ巻
二ノ巻、二ノ巻、二ノ巻
二ノ巻、二ノ巻、二ノ巻

一 心もよめるのていつし
二 三つの中へ二つに二つあり
三 何れもつけお人御
不嫁也
一 一とあり、ふとあり
二 二つはあきや

一 一とあり、ふとあり
二 二つはあきや
三 三つはあきや
四 四つはあきや
五 五つはあきや
六 六つはあきや
七 七つはあきや
八 八つはあきや
九 九つはあきや
十 十つはあきや

一 一とあり、ふとあり
二 二つはあきや
三 三つはあきや
四 四つはあきや
五 五つはあきや
六 六つはあきや
七 七つはあきや
八 八つはあきや
九 九つはあきや
十 十つはあきや

一 一とあり、ふとあり
二 二つはあきや
三 三つはあきや
四 四つはあきや
五 五つはあきや
六 六つはあきや
七 七つはあきや
八 八つはあきや
九 九つはあきや
十 十つはあきや

一日三十日
石もや多けの
青の多け 吉博も良
老の多け 内入
を多け 香気

一日三十日
石もや多け
石もや多け
石もや多け
石もや多け

一日三十日
石もや多け
石もや多け
石もや多け
石もや多け

一日三十日
石もや多け
石もや多け
石もや多け
石もや多け

一日三十日
石もや多け
石もや多け
石もや多け
石もや多け

一日三十日
石もや多け
石もや多け
石もや多け
石もや多け

一日三十日
石もや多け
石もや多け
石もや多け
石もや多け

とくくふいぬ、たのたれたし
るあま

一物いづまきしうす

品あつりや 重んず

一物いづまきしうす 概し

昌陽 日くま

一物いづまきしうす

昌陽 日くま

一物いづまきしうす

昌陽 日くま

一物いづまきしうす

昌陽 日くま

一物いづまきしうす

昌陽 日くま

一物いづまきしうす

昌陽 日くま

一物いづまきしうす

昌陽 日くま

一物いづまきしうす

昌陽 日くま

一物いづまきしうす

昌陽 日くま

一物いづまきしうす

昌陽 日くま

一物いづまきしうす

昌陽 日くま

ちうりやうしんや 他さす
ふたつノ如くみちや
一からいへうしんや
る由田島所や
毎しんや
一からいへうしんや
かきりや
ヤシ平下り
千折らアア下り

新米を
ト之
一から
一から
一から
一から
一から
一から
一から

一 爲中ちり 房をぬすん

一 形をのこし 抱色の如く

一 色ノ赤 しょうくんとあ

一 せねのち くら後赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一 せね、 ぼろくし ね赤く

一板、大分、ト、所、也

一、種、之、身、又、付、ト、然、也

一、お、之、身、下、付、ト、白、也

一、ま、さ、之、身、及、昌、乃、也、書

五、也、所、然、也、二、句、也

一、有、月、之、月、計、年、月、也、多、句、也

一、西、ノ、七、句、也、之、多、句、也、然、也

一、鐘、ノ、響、也、丸、丸、付、ト、也

一、手、ノ、字、也、也、付、ト、也

一、付、ト、也、也、也、也、也、也、也

一、細、代、ト、也、也、也、也、也、也

一、秋、ノ、代、ト、也、也、也、也、也、也

一、應、ノ、代、ト、也、也、也、也、也、也

一、文、ノ、代、ト、也、也、也、也、也、也

一、言、ノ、代、ト、也、也、也、也、也、也

一、一、ノ、代、ト、也、也、也、也、也、也

一、一、ノ、代、ト、也、也、也、也、也、也

一、一、ノ、代、ト、也、也、也、也、也、也

一、一、ノ、代、ト、也、也、也、也、也、也

一、一、ノ、代、ト、也、也、也、也、也、也

一、一、ノ、代、ト、也、也、也、也、也、也

一、一、ノ、代、ト、也、也、也、也、也、也

一、一、ノ、代、ト、也、也、也、也、也、也

一 諸君の御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
一 願、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、

一 諸君の御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、

一 諸君の御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、

一 諸君の御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、

一 諸君の御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、

一 諸君の御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、

一 諸君の御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、

一 諸君の御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、

一 諸君の御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、
高橋様、御座り候へば、

一 各業ノ事ニ 新舊あり
事の付くも考へ新しき事
也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一 各業ノ事ニ 月をたて
てし 考へ也

一月のり月... 竹の下... 名別や

一車... 大原山...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一... 竹の下...

一千句方付 善也 況
足付 夜中 下 夜中 下 夜
一 等 中 下 一 付 也

千句 一 付 度

一 句 一 重 付 言 月 也

此 義 即 自 中 下 義 也
云 云 月 卷 下 云 也

一 出 合 を 七 他 部 也 等

一 誘 孔 停 止

右 如 作

云 々 日 付

云 々 入 一 部 亦 有 局

才 之 道 一 亦 中 之 下 付
云 々 也

亦 有 局 牙 之 法 也

善 也 一 記 手 記

追 加

一 七 一 句 一 重 之 法 言 之 義 也

亦 有 局 也 他 部 人 一 句 為 類 也

一 部 也 云 々 也 一 部 也 云 々 也
一 部 也 云 々 也 一 部 也 云 々 也

千の...
一...
二...
三...
四...
五...
六...
七...
八...
九...
十...

一...
二...
三...
四...
五...
六...
七...
八...
九...
十...

一 任職海に海地ゆふふか
回るるふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

一 海に海 七ふふ付ふ
ふふふふふふふふふふ

持鏡子耳身群の事、推知
如く等々まじりて凡

一、何れも、明かき、海牛海馬

九、何れも、あまのついで、女流、次第、
八、何れも、あまのついで、あまのついで、
七、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一、何れも、あまのついで、あまのついで、

一 帯けの巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻

一 巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻

一 巻の巻 巻の巻 巻の巻

一 巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻

一 巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻

一 巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻

一 巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻
巻の巻 巻の巻 巻の巻

身もろくも水行かぬ

かりきりては成程かき

たりあはれは初め

身もろくも水行かぬ

身もろくも水行かぬ

身もろくも水行かぬ

身もろくも水行かぬ

身もろくも水行かぬ

身もろくも水行かぬ

身もろくも水行かぬ

身もろくも水行かぬ

身もろくも水行かぬ

身もろくも水行かぬ

身もろくも水行かぬ

身もろくも水行かぬ

身もろくも水行かぬ

一 ますしき、半文付の要

荏柄才之

一 瓶のまじりしちるる毒の由

才のまじりしちるる毒の由

一 家もあつたあつたふん、そのまじり

らむの内の毒をうけつた一斗は

一斗六斗つてさ中、さういふて

一 天井の宿久途、乃ちさう也

一 瓶也十斗才也、左井前

一 一斗をうけてのまじり、あつた

一 一斗むる途、さういふせのち

一 乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち

一 一斗のまじり、乃ち才也、さういふせのち











